

猫と共生するために、適正な飼育を

猫の多頭飼育崩壊や無責任な餌やり。それはテレビの中だけの出来事ではありません。安芸高田市でも、すでに数百件もの多頭飼育崩壊が確認されており、屋外で不適切に飼育されている猫は少なくとも数千匹にも上ります。

これは、もはや見過ごせない深刻な社会問題です。「自分には関係ない」と無関心でいるのではなく、人間と猫が共生するために、正しい知識を持って行動してください。



不衛生な環境での飼育放棄により、病気になった子猫たち。

大問題!! 猫の多頭飼育崩壊

あなたの近所にありますか？
多頭飼育崩壊とは

- 飼い主が何匹いるか把握できていない
- 飼い主が健康状態の悪い猫を把握していない、世話をできていない

このような状態のことを指します。

飼い主自身が飼育崩壊に気付いていないことも多く、屋外で餌を与えて飼育しているケースも見られます。敷地の外に餌や水の容器が置かれていたり、ふん尿による悪臭がする場合は、そうした状況が疑われます。

1 家の中に溜まったふん尿。信じがたいですが、これが多頭飼育崩壊の現実です。

2 3 屋外での無責任な餌やりで、増え続ける猫。

「自分には関係ない」では済みません！

屋外で暮らす猫たちは、いくつかのグループに分かれて行動しながら、次第に地域全体に広がっていきます。その結果、餌を与えていない家庭の周辺にも猫が現れるようになり、「自分には関係ない」では済まされない状況に発展してしまいます。



多頭飼育崩壊の現場には、痛々しい姿をした猫がたくさんいます。



なぜ、多頭飼育崩壊が起きるのか？

避妊・去勢をしないのが根本的な原因！

猫は1年に4回発情期を迎え、交尾をすればほぼ100%妊娠します。最多で年に4回出産することができ、1回の出産で3、4匹以上の子猫を産むため、わずかな期間で1匹が10匹、20匹と急激に増えてしまいます。

そして、猫の頭数が増えると餌代やトイレの清掃、衛生管理などの負担が増大し、経済的・身体的・精神的な限界を迎えるようになります。適切な管理ができなくなり、次第に手が付けられなくなることで、多頭飼育崩壊が起こります。

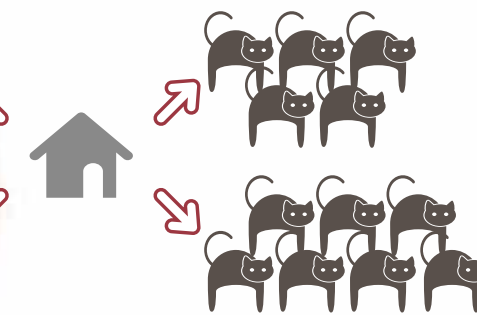
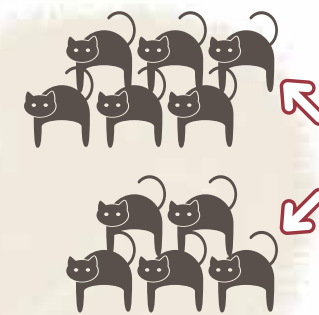
1匹の妊娠猫が

繁殖期
年2～4回
出産
1回の出産で
4～8匹

1年後 20匹以上

2年後 80匹以上

3年後 2,000匹以上



劣悪な環境で、
病気になって
しまった猫が多数。
しかも、
放置されたまま！



不衛生な環境で飼育されている猫たち。



ご近所さんが
多頭飼育崩壊っぽい…。
どうすればいい？

迷わず市役所へ連絡してください。状況を早く把握して対応すれば、猫や飼い主、近隣住民の被害を最小限に抑えることができます。動物支援団体と連携し、必要な支援や指導を行います。